

後期第2回報告課題 望ましい情報社会に向かう

教科書62ページ～83ページ

[1]次に示した各文中の空欄に適する語句を、教科書を参考にして答えなさい。

・情報システムには、コンピュータの高度な計算能力を活用する（①）、情報を高速で通信する（②）、データベース機能を持ち必要に応じて検索できる（③）、電子制御により設備や機器の自動化を可能にする（④）などがある。 **P62・P63参照**

・情報システムの連携により、インターネット上で買い物をする（⑤）、コンビニエンスストアなどの販売管理を即座に行う（⑥）が可能になった。また、自動車を目的地まで経路案内する（⑦）では、人工衛星を利用して位置を測定する（⑧）、渋滞情報を提供する（⑨）などが連携して1つのサービスを提供している。 **P64・P65参照**

①	②	③
④	⑤	⑥
⑦	⑧	⑨

[2]次の①～⑨の情報システムは、[A]計算システム、[B]通信システム、[C]データ管理システム、[D]制御システムのどれと関連が深いか。A～Dの記号で答えなさい。

- ①鉄道の運行管理    ②建物の構造解析    ③遠隔地とのテレビ会議    ④在庫管理  
 ⑤住民基本台帳ネットワークシステム    ⑥自動車の危険回避機能    ⑦電子商取引  
 ⑧遠隔地での地震観測のデータ収集    ⑨過去の気象データの解析

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	---	---	---	---	---	---	---	---

[3]現在実現している「安全に自動車を走行させるための制御システム」について、例を1つあげて、インターネットなどで調べて、その働き方を説明しなさい。

[4]情報システムの信頼性に関する次の文中の空欄に適する語句を答えなさい。

・コンピュータは人間が作り出し、利用するもので、常に正しいとは限らない。誤りを事前に防ぐため、読み取りミスを検出する（①）や、データの送信・保存・読み出しの際に生じるエラーを検出する（②）などの方法が用いられている。 **P71 参照**

・情報社会では、サービスにアクセスできる人とできない人の間で（③）とよばれる格差が生じる。これからは、人の状況にかかわらず使いやすいデザインを示す（④）といった視点は欠かせない。 **P72・P73 参照**

・情報セキュリティ技術として、ネットワークを通じた悪意のある攻撃からコンピュータを守る（⑤）、ネットワークを仮想化し安全性を高める（⑥）などがある。 **P73 参照**

①	②	③
④	⑤	⑥

[5]「ユニバーサルデザイン」と「バリアフリー」との違いについて調べなさい。

[6]問題解決の4ステップについて、教科書74ページから75ページを参考に、項目と内容を書きなさい。

手順	項目	内容
1		
2		
3		
4		

[7]「ユニバーサルデザインの7原則」について、インターネットなどを利用して、下の表を完成させなさい。

原則①	
原則②	
原則③	
原則④	
原則⑤	
原則⑥	
原則⑦	

[8]教科書157ページを参考に、次の記号の読み方を記入しましょう。

Tab		ESC	
Alt		Shift	
Ctrl		,	
@		*	
:		/	